

迷蝶ウスコモンマダラ

波多野 哲哉（朝来市教育委員会）

山東町で迷蝶ウスコモンマダラを採集した。まさかと思ったが紛れもない。

【ウスコモンマダラ】 *Tirumala limniace* CRAMER

＜採集地＞朝来市山東町

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：迷蝶として静岡から南西諸島まで記録が有る。日本には棲息していない。兵庫県下では今回の採集の他に西宮市で2例ある。国外：パキスタン、ヒマラヤ、インド、セイロン、ビルマ、インドシナ、中国西南部、フィリピン、台湾など。

＜生態＞多化性。台湾では春から秋まで見られる。飛翔は緩やかで各種の花で吸蜜する。

＜食草＞ガガイモ科のトウワタ属、サクララン属など。台湾ではブラウンカズラ。

【カバマダラ】 *Anosia chrysippus* LINNAEUS

＜採集地＞那覇市・タイ バンコク

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：沖縄本島、八重山諸島、奄美諸島。九州南部や屋久島では越冬固体も報告されている。迷蝶としてはメジャーで全国各地で報告例がある。国外：アフリカ、ヨーロッパ地中海沿岸、ネパール、チバット、インド、セイロン、ミャンマー、インドシナ、マレー半島、中国大陸、台湾、フィリピン、ニューギニア、オーストラリア北部と広範囲にわたる。

＜生態＞年に何度も発生を繰り返す（多化性）。開けた原っぱなどで発生する。飛翔は緩やかで、各種の花を訪れる。

＜食草＞ガガイモ科のトウワタ、フウセントウワタなど。

【スジグロカバマダラ】 *Salatura genutia* CRAMER

＜採集地＞石垣市竹富島

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：八重山諸島。沖縄諸島、奄美諸島では越冬固体も報告されている。迷蝶としてはメジャーで全国各地で報告例がある。国外：パキスタン、ヒマラヤ、インド、セイロン、ミャンマー、インドシナ、マレー半島、中国大陸、台湾、フィリピン、ニューギニア、オーストラリア北部と広範囲にわたる。カバマダラよりやや南に分布が偏る。

＜生態＞年に何度も発生を繰り返す（多化性）。開けた原っぱなどで発生する。飛翔は緩やかで、各種の花を訪れる。カバマダラより産地はやや限定される。

＜食草＞ガガイモ科のリウキュウガシワなど。

【オオゴマダラ】 *Idea leuconoe* ERICHSON

＜採集地＞奄美郡喜界島

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：奄美諸島以南の地域。トカラ列島にも迷蝶としての記録が有る。国外：ミャンマー南部、タイ南部、マレー半島、スマトラ、フィリピン、台湾など。

＜生態＞多化性。海岸付近を風に乗って緩やかに飛翔する。トベラなどで吸蜜。

＜食草＞キョウチクトウ科のホウライカガミ。

【リュウキュウアサギマダラ】 *Ideopsis (Radena) similis* LINNAEUS

＜採集地＞奄美郡喜界島

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：奄美諸島以南に棲息。迷蝶としてトカラ列島、鹿児島市、宮崎市にも記録が有る。日本産は分布の東、北限にあたる。国外：インド、セイロン、タイ、インドシナ、中国南部、台湾、マレー半島、など。

＜生態＞多化性。年6回程度発生すると考えられている。成虫は数百頭が集団になって越冬するケースも報告されている。アザミ、トウワタ、トベラ、ランタナなど多くの花で吸蜜する。

＜食草＞ガガイモ科のツルモウリンカ、ホウライカモメヅルなど。

【アサギマダラ】 *Parantica sita* KOLLAR

＜採集地＞朝来市山東町

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：北海道から沖縄まで。関東以北、奄美以南では希少。日本産は分布の東、北限にあたる。国外：ヒマラヤ、ミャンマー、タイ、インド、中国大陸、マレー半島、台湾、朝鮮半島。

＜生態＞本州では2～3回、南西諸島では5回以上発生。春、秋には低地で、夏には高地で多数見かける。飛翔は緩やかでアザミ類、ヒヨドリバナ、オカトラノオなどで吸蜜する。

＜食草＞ガガイモ科のキジョラン、イケマ、オオカモメヅル、サクラランなど。

【ヒメコモンアサギマダラ】 *Parantica aglea* STOLL

＜採集地＞ネパール カトマンズ

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：迷蝶として西表島、与那国島、沖縄本島で記録が有る。国外：インド、アッサム、セイロン、ミャンマー、インドシナ、中国南部、マレー半島、台湾など。

＜生態＞多化性。台湾では周年見られる。飛翔は緩やかで各種の花を訪れる。

＜食草＞不明。

【シロオビマダラ】 *Euploea camaralzeman* BUTLER

＜採集地＞ネパール カトマンズ

＜採集者＞波多野哲哉

＜分布＞国内：八重山諸島、沖縄本島で記録が有る。国外：ミャンマー、インドシナ、マレー半島、フィリピン、セレベス、モルッカ諸島など。台湾でも迷蝶として採集される。

＜生態＞不明。

＜食草＞不明。

【ツمامラサキマダラ】 *Euploea mulciber* CRAMER

＜採集地＞奄美郡喜界島・西表島

＜採集者＞波多野哲哉・石田千香子

＜分布＞国内：古くは長崎地方、神奈川県、長野県にデータ詳細不明の記録あり。その他は八重山諸島に記録が有る。琉球大学に2000年に問い合わせたところ、1996年以降沖縄本島から奄美諸島へ急に見られるようになり、おそらく今後土着していくのではないかとの見解をいただいた。国外：インド、ネパール、ミャンマー、インドシナ、中国南部、台湾、マレー半島、スマトラ、ジャワ、フィリピン、ボルネオなど。

＜生態＞トベラ、トウワタなどの花を次々に訪れる。飛翔はきわめて緩やか。採集した感じで

はオス：メス＝3：1ぐらいに感じた。
＜食草＞不明。



私の宝物